

フィラデルフィア — 新旧の海外市場開拓 — にて想う

バイオに17回連続参加

年始に3年10か月のアトランタ事務所勤務を終えジェトロ本部（東京）に帰任、4月より海外市場開拓課長を拝命しております森と申します。現在のミッションは、素材材や航空宇宙など所謂「ものづくり」分野とバイオ・医療機器などライフサイエンス分野の我が国企業の海外市場開拓のお手伝いを行うことです。

今年度最初の海外イベントとして、2019年6月4～6日、米国フィラデルフィアで開催された世界最大のバイオイベントに、技術やサービスに優れる我が国バイオ企業22社を引率し、日本ブースを出展運営しました。（ちなみに17回連続出展。）バイオベンチャーに対する世界的な投資熱が高まる中、全国の大学発ベンチャー企業を含む有力参加者は、前年を上回る商談数を精力的にこなし、多くの成果を得たとの報告を受けています。参加者の多くから要望のあった「大手製薬会社と会いたい」との要望にも応え、米国大手製薬会社とのワークショップを、シカゴ事務所が有するネットワークを活かし開催しました。イベント会場内を見渡すと、各国パビリオン同様に、各州政府が取りまとめるブースも多く設けられ、ジョージア州のブースでは主に州内への企業誘致活動を積極的に実施していました。

CBRE（不動産投資会社）の最新レポートによると米国内のライフサイエンス市場ランキングではボストン・ケンブリッジ、カリフォルニアのサンディエゴ、同シリコンバレーなどが上位を占める一方、成長性の高いライフサイエンスクラスターの集積では、シアトル、ヒューストン、オースティンなどの上位地区に続きアトランタも

8位にランクインしています。個人的にはもう少し日本の業界関係者からも注目されて良いのではと思います。

その証左に、州政府の誘致支援スキーム（クイックスタート）のパンフレットにも、武田製薬が買収した元シャイアーの製薬工場がアトランタ郊外のコピントンにあると紹介されていました。また州北部のダルトン市には小林製薬が北米子会社の製造拠点を有しているなど、製薬大手の進出先として注目されているようです。また、アトランタには保険福祉省所管で感染症対策の総合研究所としてアメリカ疾病予防管理センターが設けられ、日本人を含む世界中の研究者が関わる公衆衛生の世界的リーディング機関として認知されています。フィンテック同様にジョージアのバイオ産業も今後大化けするのか、期待が膨らみます。

米国で開催された万博を通じた日本の貿易振興

最初の万博は1851年のロンドン博ですが、米国における最初の万博は、独立100周年を記念して1876年（明治9年、5/10～11/10、来場者986万人）に開催されたフィラデルフィア博です。新興国アメリカは国力と技術力を誇示するため、新発明の機械類の展示を大規模に行い、機械産業の発展ぶりを内外に広く示しました。コーリスエンジン（巨大蒸気機関）、樽製造機、ミシン、精密機器、タイプライター、ハンマー、圧延機などがそれにあたります。一方で、アジアの新興国である明治新政府も、総裁に大久保利通、副総裁は西郷従道を任命し、日本式建物と販売所（バザール）を会場内に建設し、物産の輸出促進・市場調査を目的に大規模（梱包

目次

- フィラデルフィアにて想う
— 新旧の海外市場開拓
- Japan Trip Grassroots Exchange Network-Japan (GEN-J)
- International Educators to Japan Program 2019 報告
- 秋のイベントツアーのお知らせ
- クリスマス会のお知らせ



グローバル・イノベーション・ハブに登壇



ジョージア州ブース@ BIO

数で英国に次ぐ2位、重量では5位）な展示物を持ち込んだと記録にあるなどその意気込みが伝わってきます。フィラデルフィア博は日米の産業交流の原点でもあり不平等条約改正に向けた殖産振興振りをアピールする格好の場となりました。

日本はその後の84年のニューオリンズ博、93年のシカゴ博、95年のアトランタ博、1901～2年のチャールストン博、1904年のセントルイス博にも本格的な日本建築様式の日本館やバザールを設置し、物産の売り込みを精力的に行いました。そうした取り組みが奏功し、1906年（明治39年）の輸出総額は4.3億円に達し、フィラデルフィア博時の2,800万円より約15倍に膨らみ、生糸、茶、水産物、石炭など主力輸出品が外貨獲得に大きな役割を果たしました。

アトランタ博（1895年、9/18～12/31、来場者80万人）は、1996年のオリンピックのレガシーが大きく、戦前に開催された

万博を通じた交流は時間の流れもあり、赴任していた間もあまり顧みられていない印象があります。ジョージアにおける日米の産業交流の原点として、アトランタ博での日本館の出展の一端を赴任中に収集した当時の資料にて紹介します。

なお、ジェットロは1958年の創設以来、24の海外博覧会の公式参加機関を務めており、個人的にも2010年上海博覧会の日本政府館事務局長を勤めました。

最後に、2025年に大阪で開催される万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」Designing future society for our lives. ライフサイエンス分野の新しい



アトランタ博 日本村の様子（芸術品陳列棚、茶室、シアター、池などから構成）

技術や知恵が紹介される同博覧会は今から楽しみです。皆様も『一生に一度は万博を！』

（前ジェットロ・アトランタ事務所長 森 則和）

Japan Trip Grassroots Exchange Network-Japan (GEN-J)

外務省管轄の政府系法人であり日本と諸外国の文化交流を実施する「国際交流基金」が、日米関係を強化するための新たな事業として「グラスルーツからの日米関係強化：Grassroots Exchange Network-Japan (GEN-J)」という招へいプログラムを開始しました。このプログラムは日本企業の進出が多い中西部・南部諸州から、日本企業の誘致・支援に関与する地元有力者の方々に日本に招へいし、企業訪問、企業関係者との意見交換、社

会見学や文化体験等を通じて、日本及び日本企業に対する理解を深めてもらうという趣旨のもので、中西部・南部諸州を管轄する日本国総領事館から推薦された日本企業の誘致や支援に関わる地元有力者（地方議員、行政府機関幹部等）や日本企業と関係のあるビジネスリーダー（商工会幹部等）等が対象となっています。

第1回目の招へいは今年5月に実施され、ジョージア州から6名の方々が来日しました。その来日された中のお一人で、昨

年までジョージア州ローム・フロイド郡の経済開発局長を務めていたアルバート・ホッジさんが、今回のプログラムで来日した時の感想を中心に以下の記事をジョージア会ニューズレターに寄稿してくださいました。ホッジさんは今年8月より「ジョージア日米協会」の会長に就任することになっており、文字通り親日家であると共に米国南部の southern hospitality 溢れる紳士です。ぜひご一読ください。

Reiwa! Domo Arigato!

A new Emperor, A New Era, Reigning Hospitality

May was a monumental month for Japan, and a group of community based and state leaders experienced Japan up close and personal during this very special time. While congratulations and public and commercial banners waved "Reiwa!" Georgians were able to enjoy mutual harmony with Japanese friends.

The Japan Foundation kindly hosted our visit and we benefitted from briefings about trade, education and work force, demographic shifts, investments and so much more which are impacting both US and Japan.

Briefings by the Japan Foundation, the Japan Ministry of Foreign Affairs, Keidanren, JETRO and private sector executives were substantive while celebrating the decades long relationship Georgia and Japan have enjoyed. Trading partners were discussed, along with direct investments that have mutually benefitted both sides of the Pacific. The Japan Foundation creates global opportunities to foster friendship,

trust and mutual understanding through culture, language and dialogue. This special trip is a Gen-J program.

Current trade issues and workforce concerns were mutually affirmed. Background information shared from Consul General Takashi Shinozuka - the highly regarded member of the Ambassadorial Corps - was very helpful as the various issues were described.

The timing of the visit coincided with President Trump's visit with the new Emperor - the first world leader to visit him; meetings and other time with Prime Minister Abe were priorities. It was also prior to the Osaka G20 Summit, so the world's positive focus is on Japan.

We all appreciated the personal and professional attention of Yumiko Nakazono whose excellent reputation is well deserved and leads the Japan Office of the Georgia Department of Economic Development.

Georgia leaders shared pride in Georgia based companies who benefit from investing and employing in Japan - among the largest are JASG members AFLAC, Coca-Cola, Delta Air Lines - and a variety of other goods and services producers. Numerous

Japanese corporations invest in Georgia, ranging from manufacturers of all terrain vehicles, automotive parts and tires; financial services and more.

Sustainability 5.0 is a new initiative of Keidanren, the very influential association of corporations and their executives. Environmental sustainability and reduction of poverty and peace are all priorities.

JETRO recently conducted a survey and results included more than half of Japanese corporations are planning expansions in the US. JETRO is another resource used by many US businesses and available for more opportunities.

Some of the Georgia delegates traveled to Osaka and Kyoto with visits to innovative Daikin Corporation.

Kitakyushu hosted others from Georgia and is home to TOTO corporate headquarters, also with a significant manufacturing plant and North American headquarters in Georgia – led by JASG Chair of the Board Bill Strang. A Nippon Steel tour and briefing were conducted – with traditional and contemporary methods of production. They also noted the joint venture with Arcelor Mittal in the US.

Along the way, leaders from Athens – Blaine Williams; Global Atlanta -Trevor Williams; Dublin – Mayor Phil Best, Rome – Al Hodge, and Savannah- Mayor Pro Tem Carol Bell and Chair of City Council Julian Miller were treated to cultural experiences, shrines, historic places tours, and lots of tasty and nutritious food. Trade, investment and sustainability were discussed and new friends were made during the special evening with our friends of the Kitakyushu Chamber of Commerce.

Georgia is mighty proud to be the State Host for the Japan



左から3人目がアルバート・ホッジ氏

- Southeast US Association in Savannah in October. With leadership from Governor Brian Kemp, Commissioner Pat Wilson and Deputy Commissioner, International Trade Mary Waters – with extra special coordination with Yumiko Nakazono – the Conference is certain to be substantive, with warm hospitality. We look forward to tremendous participation of Japanese executives in this meaningful conference.

I am honored to be a member and officer of the Japan America Society of Georgia, and The Japan Foundation is a very significant partner with the Society. We are grateful for their continuous support. It is through programs, public policy awareness and advocacy and the forever important relationships that prosperity between nations, states and communities are achieved.

On behalf of Georgians who enjoyed this extraordinary experience we say Domo Arigato!

(AL Hodge)

International Educators to Japan Program 2019 報告

今年もジョージア日本人商工会等在ジョージア州日系企業が中心となって派遣する先生が来日し「2019年度エデュケーターズプログラム」に参加されました。このプログラムは米国、カナダ、ベルギーから現地日本語補習校の協力学校、日本人子弟の通う現地校の先生などを現地日系企業団体が中心となって招待し、貿易研

修センターの受け入れ支援により、毎年開催されているものです。

ジョージア州からは1985年以来現地日系企業の協力により毎年派遣が続けられており、今年も1名の校長先生と2名の先生（計3名）が来日しました。6月24日の他地域の先生方と合流後にプログラムは始まり、学校訪問、体験授業、奈良でのホームステイ体験、奈良・京都・広島観光、文化体験等約2週間の様々なプログラムを満喫され、7月4日に無事帰国されました。

当協会では毎年恒例となった、ジョージア州からの先生方を歓迎する懇談会を6月25日夜、品川プリンスホテルアネックスタワーの「和ビストロい

ちよう坂」にて開催しました。これまで同様、当協会からの参加者が溢れるジョージア州への愛で先生方をもてなす会となりました。

参加者の中にはジョージア州への赴任時に子弟を現地校へ通わせた方も多く、現地での教育の記憶は鮮明に残っています。言語・文化の違いに直面して悪戦苦闘しながらも、現地のサザンホスピタリティにも助けられた子育ては、日本での子育てとはまた違った思い出となっています。先生方には現地における直近の教育事情を教えていただき、参加者一同赴任時の記憶を新たにしました。

先生方も本プログラムを大変楽しみにされていたとことであり「小学校における生徒による配膳や掃除などの組織的な取り組みはアメリカでは考えられない、体



ジョージア州からの先生方を囲んでの歓迎会



ランジー校長先生によるご挨拶
 験できることができてとても嬉しい」と話
 されていました。

本年もプログラムの実施に尽力された、
 ジョージア日本人商工会他現地関係者の
 皆様のご尽力に感謝申し申し上げますと共

に、今後ともプログラムへの参加が継続
 され先生方の体験がジョージアと日本との
 すばらしい架け橋となって、語り継がれて
 いくことを心より願っております。

(当協会の歓迎会は会報にて事前告知さ
 せていただき、協会メンバーの方どなたで
 もご参加できるようにしております。来年
 はオリンピック開催などの関係からエデュ
 ケーターズプログラムの実施が見送られま
 すが、ご関心のある方はまた再来年の会
 にぜひご参加いただきますようお願いいた
 します。)

(事業部・田内恒治 / 高橋建太郎)

日本ジョージア協会 入会のご案内

日本ジョージア協会について、知人、
 友人の方々は是非お誘い下さい。

1. 入会方法：

〒105-0001

東京都港区虎ノ門5-11-1

オランダヒルズ森タワー RoP 1202号室

米国ジョージア州商務省東京事務所内

電話：03(6402)5035

ファックス：03(6402)5036

e-mail：KTajika@georgia.org

上記まで電話、ファックスまたはe-mail
 でお申し込みください。

2. 会費の納入について：入会お申し
 込み次第、以下により会費を納入
 下さい。

○個人会員 年会費（1～12月）

一世帯あたり 5,000円

○個人地方会員★ 一世帯あたり 2,500円

○個人海外会員★ 一世帯あたり 2,500円

★個人会員のうち居住地、勤務地いずれ

もが東京都、神奈川県、千葉県、埼玉
 県以外にあって本協会の主催する各種

行事に参加が困難または不可能な方

（年途中の入会の場合、個人会員は1ヵ

月420円、地方会員と海外会員は1ヵ

月210円の月割りで可。）

○法人会員 年会費（1～12月）

1社あたり 120,000円

※金額は2013年1月改定

3. 銀行振込先

（振込手数料はご本人負担）

○振込口座名 日本ジョージア協会

○振込銀行

みずほ銀行

麹町支店(普)1812099

三菱UFJ銀行

新橋支店(普)3199212

今年度ジョージア州からのプログラム参加者

Name	Title	School/Organization
Ms. Tara Ranzy	Principal	International Charter Academy of Georgia
Ms. Jenna Gable	ESOL Teacher	West End Elementary School
Ms. Michelle Cole-Spence	ESOL Teacher	Peeples Elementary School

日本ジョージア協会事業部・秋のイベントツアー

「下町風情が色濃く残る谷中・根津・千駄木を巡る一日」 申込締切 8月25日(日)

2019年秋のイベントツアーのご案内です。今年は江戸時代の下町風情が色濃く残る谷中・
 根津・千駄木を、東京シティガイドクラブの方に案内していただき、根津駅周辺でランチ
 を楽しむ予定です。ランチ会場は現在調整中ですので、当日ご案内させていただきます。

尚、今年より日本GA協会のメールアドレス (administration@georgia-kai.org) よりご
 案内をお送りしますので、お問合わせやご連絡もすべて上記メールアドレスをお願いします。

実施要項

募集人数 先着30名(申し込みいただいた場合でも、既に30名に達している場合
 は参加できない場合がありますのでご了承願います。)

応募方法 日本GA協会のメアド (administration@georgia-kai.org) にメールで
 参加者氏名、参加人数を連絡願います。

申込締切 2019年8月25日(日曜日)まで

開催日時 10月5日(土) 午前10時～午後2時半
 雨天決行(台風などの場合は前日までにご連絡します)

集合時間 午前9時50分

場 所 JR日暮里駅北口改札集合

解散時間 午後2時半頃、根津駅周辺のレストランにて解散(予定)

参加費用 会 員：大人：2,000円、子供：500円
 非会員：大人：3,500円、子供：2,000円

注 意 当日キャンセルは、ガイド料と昼食代が実費で発生する場合もござい
 ますのでご注意ください。何かご不明な点がありましたら、日本GA
 協会のメアド (administration@georgia-kai.org) までご連絡ください。

(事業部・高橋健太郎)

今年のクリスマス会は12月5日(木曜日)に開催予定です。
 本年も皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

On My Mind 編集委員 (50音順)

大塚 一郎、齋藤 健史

辛坊 正記、高橋建太郎

中園由美子、多鹿 香理

成田 裕介、山本真由美